



学校だより

さいたま市立大谷場小学校

<http://oyaba-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

— ひとみ輝く子の育成 —
かしこく
やさしく
たくましく
あたたかく

今月の生活目標

話をしっかり聞こう

「子どもたちの健やかな育成」を目指して

校長 玉井 康 仁

風薫るさわやかな季節になりました。4月20日に青少年育成大谷場小地区会、PTAの皆様のご協力の下、鯉のぼりが校庭にあがりました。青空を元気に泳ぐ鯉のぼりの下を、通りがかった1年生が走り回り、「屋根より高い〜」と歌って見上げていました。子どもたちも1カ月が過ぎ、新しい生活に慣れ、新学年の自覚をもって学校生活を送っている様子が見えがえします。

さて、今月は、「学校教育目標」と「目指す児童像」についてお伝えしたいと思います。本校の学校教育目標は、次の通りです。

学校教育目標： **ひとみ輝く子の育成**

教育は、一人ひとりの人格の完成をめざし、未来を担う子どもたちを育成する使命を担っています。小学校教育では基礎・基本の確実な定着を図るため、生き生きと学び合う授業を通して、新たな発見に感動したり、分かった・できた喜びを感じたりしながら、「新しい知識や技能」を身に付けます。また、社会生活の基礎を培うと共に、友だちとの協力や思いやりなど「豊かな心」を育みます。さらに、努力が実を結ぶ体験を通して「やり抜く力」や自ら人生を「切り拓く力」を身に付けます。そして、互いの意見や考えを伝え合う経験を通して、「温かな人間関係」を築きます。本校ではこのような教育活動を通して、子どもたちが学ぶ楽しさを実感し、一人ひとりが自分の夢に向かって、瞳を輝かせて取り組むような教育活動を実現します。

目指す児童像： ○ か し こ く (知)
○ や さ し く (徳)
○ た く ま し く (体)
○ あ た た か く (コミュニケーション)

学校教育目標の実現には、学校における教育活動全般を通して、「生きる力」を支える「確かな学力(知)」、「豊かな心(徳)」、「健やかな体(体)」、そして、「豊かなかかわり合い(コミュニケーション)」をバランスよく身に付ける教育こそが大切です。そこで、今年度から目指す児童像に、豊かにかかわれる子の育成を目指して、「あたたかく」を加えました。

「かしこく」では、基礎・基本を確実に身に付けるとともに、自己の課題解決に向けて、意欲をもって主体的に学習に取り組む子どもに育てたいと考えております。また、相手の話を最後まで聞きながら自分の考えをまとめることができる子どもに育てたいと考えております。

「やさしく」では、素直、優しさ、感謝を大切に、まっすぐな心もった子どもに育てたいと考えております。具体的には、友達のよさを認め、協力と助け合いができる子ども、決まりを守り、善悪の判断ができる子ども、「ありがとうございます」「ごめんなさい」が自分から言える子どもに育てたいと考えております。

「たくましく」では、健康で安全な生活習慣を身に付け、進んで運動することを通して自ら体を鍛えると共に、何事も責任をもち、やり抜く、たくましい子どもに育てたいと考えております。

「あたたかく」では、人間関係の基本となる、元気な「おはようございます」のあいさつと、しっかり「はい」と返事ができる子どもに育てたいと考えております。また、友達の意見や考えを大切にして協力と助け合いができる子どもに育てたいと考えております。

教育む営みは、学校で学んだ(教え)ことを、家庭や地域の中で実際に行ってみる(育む)ことが大切です。今月の学校だよりの内容は、5月8日の講話朝会で児童に話します。大谷場小学校の学校教育目標をご家庭でも話題にいただき、ご家庭や地域の皆様とともに、子どもたちの健やかな育成を図りたいと思います。

